

刊夕日五十月八

常盤每日新聞

定価 一紙五銭 一月五拾五銭 郵費五銭
廣告料 五銭以上 一紙一円 一月十円
日曜祭日の日曜日休刊
発行所 常盤毎日新聞社
印刷所 常盤毎日印刷株式会社
電話 六二〇
郵便 常盤毎日新聞社
印刷株式会社



盆踊考

【五】

生

註一、沖野岩三郎氏筆「高踏佛教と自然山嶽道場の衝突」『湖畔の聲』廿三卷第十號所載

註二、『大神宮參詣記』より

註三、無推法師の『沙石集』より

註四、中山太郎氏『日本巫女史』『實笑三千年史』(曰く、筆者は未だ該書の謁覽の機会を得不得)を公にし實笑婦の起源を巫女と断定したるに對し、田中番澤氏醜業の深淵に陥ち込みたる巫女は有るにしても、其を以て實笑婦の起源となすは早計なりと「巫娼考」なる一文を以て之に反駁した。

今茲に、民俗學大家の兩論の是非を論ずるものでは決してなく、筆者自身として、其の發生を女歌舞伎役者の前身、傀儡子、白拍子に求むべきかと秘かに信じて居る。

3、共同婚
上古に於ける男女の戀愛並び其の婚姻に就て考へ見るに、はたして今日の如き構成と祖式との間に行わ

れたであらうか。原始時代の人類のかゝる方面を探究する等は至難な業であつて、むしろ信頼するに足る資料の缺乏より生ずる推測と想像以外に説を立て、之を論ずるのやむ無きに至るも、今日の最高た

れたであらうか。

原始時代の人類のかゝる方面を探究する等は至難な業であつて、むしろ信頼するに足る資料の缺乏より生ずる推測と想像以外に説を立て、之を論ずるのやむ無きに至るも、今日の最高た

【朝】味噌汁・豆腐 小皿
【書】カレー粉 豚肉玉
(カレー粉 豚肉玉 葱) 小井一富貴まめ

【晚】ラード焼・鯖付合
馬鈴薯 粉吹き
酢の物代り 生トマ
ト 胡瓜鹽かけ

る結婚形態「一夫一妻」制が人類に到達し採用せらるゝ以前に於ては、一夫多妻、或は一妻多夫制を用ひられ而して其れ以前を溯源するに亂婚制が習俗せられてゐたに相違ないとの主張に對し、幾多の疑問反證を擧げ得られるも、東西人類學、民俗學者の略は一致した意見である。

異國はいざ知らず、本邦のみはかゝる癡癡的な、反道徳的の制度——のものに營みをして來るとみなすは吾が遠祖を冒瀆するも余りありと茲に否定すべきであるが、古事記、日本書紀等に該論を彷彿すべき神話を隨所に發見するのである。亂婚の制度である以上、女子にとつて幾多の男子あるにしても、一人の定めたる夫なく、子に對しては母はあるも其の父なく、從つて無なる子に就ては、女子は母であり、又同時に父の地位をも保ち、而して後必然的に伴ふ母系制度の誕生であつた。

文藝募集

依つて我國は男尊女卑の國ではなく、蓋し母系制度の國であるを我國發生の神話に徴するも明であり、嬰兒は母性の肉體の一部「乳房」を稱して、まだ見ぬ敬倒やまざる女の恩慕の念の表れとして「チ」と名付しを以てしても黙頭くたあろう。

吉田眼科醫院

平町紺屋町

依つて我國は男尊女卑の國ではなく、蓋し母系制度の國であるを我國發生の神話に徴するも明であり、嬰兒は母性の肉體の一部「乳房」を稱して、まだ見ぬ敬倒やまざる女の恩慕の念の表れとして「チ」と名付しを以てしても黙頭くたあろう。

専門線
X
光科
上田外科醫院
平町南町
電話一二九番

御位牌と
佛壇佛具
品よい
安
平・新川町
橋本屋
電話一六三

御新盆提灯
御戒名提灯
特製スソ模様入レモ出来マス……
岐阜提灯・變形提灯
……各種取揃へました……
是非御用命は！格價低廉の
スガノヤ提灯店へ
平 電話四九五番

難波
内科一般
醫學博士 難波 睦
看護婦募集
平町大町新川端
電話五〇〇二
院

利息割戻
特典付貸保擔産動不付典特
開始
右ノ外
株式常陽銀行
一、有價證券擔保貸付
二、商會倉庫證券擔保貸付
三、町會倉庫證券擔保貸付
四、養蠶組合(へ)貸付
五、肥料購入組合(へ)貸付
六、納税組合(へ)貸付
七、貯金組合(へ)貸付
八、其他各種産業組合公共團體(へ)貸付
九、荷付爲替手形商業手形ノ割引以上簡便低利ニ御取扱致シマス

是非！
御融通には御用命下さい
萬事便利な御相談に應じます
公債、債券 三井質店
質物一般
平・四 電話六〇六番

工場員募集
平工場作業員 二名
三十歳前後
川崎工場見習 三名
十六、七歳前後(賄付外手當支給)
希望者は至急來談あれ
特許
石山式
石綿ムシカマド製作所
平材木町(電話一三七番)

防空費に

壹千圓可決

空襲來を豫期し

平町が空の護り

けふの平町會に町當局は防空演習を前にし防空普及及び防施設費として金一千圓の追加豫算を提出したが、その後恒久性を帯びる新費目の事として議論が續出可成り、險惡な空氣が漂つたが一時休議して懇談を交はす等酒井助役が八方に陳辯に努めた結果、今後の空襲來に備へ平町は相當の防備施設を構し

磐崎産業青年 磐崎信用組合は組合事業の擴充を計るため男女産業青年團を組織し組合加入並に組合事業の宣傳等に活躍せしめべく目下役員間で協議中

且つ一般人の注意を喚起する心要上當然の支出であるとの認められ、満場一致此の追加豫算を可決した

粘土山探し

山師連が血眼

石城地方の軍需景氣は炭礦や鐵工業を訪れたばかりでなく、數年前まで殆んど顧られなかつた粘土採掘にも波及して郡下の粘土山は非常な活氣を呈してゐる數年前は耐火質粘土でも一噸三四圓で採掘費にもならなかつたのが最近では一噸七八圓と倍以上で取引されるので山師やプロッカー連中は粘土山探しに血眼となつてゐる

入賞決定

けふ授與式

既報石城郡農會主催の本年度小麥菜種共進會は昨十四日平農業倉庫に開き出品二百餘に達したので午後審査の結果左の入賞者が決定今十五日午後二時より團體事務所樓上で賞品授與式を行つた

体操講習開始

郡下小學校教員の体操講習會は既報の如く明十六日(一)日間平第一校庭で山本本縣

下山田通 錦天野成男
内郷坂本豊 志賀榮吉
好間鈴木義春 川部蘭部
菊次 飯野須藤一雄 渡邊若松長治 平窪大山忠平 下小川吉田儀次郎
大野鈴木時夫 大和田勇司 二平錦赤津留松 根本理一郎 好間猪狩常松
下小川市川嘉積 平窪大山七十司 新妻金一郎
三等内郷遠藤明治 草野古市喜一 渡邊義明 渡邊竹男 内郷四倉敏雄
好間鈴木忠重 濱松智彌 鈴木美春 渡邊柴田千代吉(菜種)一等草郎戸田彦若 好間中村武夫 大浦加澤亥之吉 高木忠八
岡田源太郎 岡田伊三郎 岡田丑松 岡田熊吉 高崎清壽 四倉遠藤寅雄
二等草野中野克勝 富岡信雄 大平力 平窪吉野佐平太 好間廣川昌徳 小野松彌 木田良吉 金成繁 大浦加澤佐吉 猪狩慶助 大野植田寛徳 木村忠一 鈴木時夫 三等飯野白土忠治 錦古川權一 下山田賢造 渡邊吉四郎 山田大平芳介 好

自營會の振興策

けふ評議會が協議

平自營會の第二回評議員會は既報の如く今十五日午前十一時から平自營會議室に開催、武田理事の開會の辭に次いで清田會長の挨拶、吉岡常任理事の會務報告、來賓中島半裁判所監督判事、福島聯合保護會事務理事山本福島事務所長の祝辭等あり

公衆電話の

市外通話區域擴張

平局公衆電話の市外通話區域は通話料二十五錢迄の地に限られてゐたが最近公衆電話の利用者が一日平均三百名位に増加して來たので同局では利用者の便宜を計り今十五日より市外五十錢迄の區域に延長されたが通話料三十錢以上の區域には午後八時から翌日午前七時までは夜間通話として一般加入者同様に料金が低減される便利があり同電話の取扱時間は無制限なので公衆電話の利用は今後益々増加すると見られてゐる

退職教員慰勞

平町退職教員慰勞金は左の如く決定

縣下大會を以て

本郡選手の争覇戦

郡聯合青年体育大會開かる

郡聯合青年團の体育大會は来る九月十三日午前八時から磐中グラウンドに開催される事になったが競技種目は左の如く縣大會の制覇を目ざし縣大會出場希望選手

松本榮重 神谷木村安太郎 片岡忠衛

平局野球出發

既報明十六日郡山市に開催される縣下二二局野球大會に出場する平局チームは明朝四時五十餘名の應援團と共に自動車で出發するが縣下チーム優勝候補と目される

平町人事

△材木町三三木村浩氏三男 直正さん
△紺屋町三八渡邊榮之助氏 (六三)

八月十七日より七日間

用品の大賣出し

全店清新たる夏の商品豊富絶好の特價品!!

御贈答に 重寶な 商品券

- 結 締 金七十錢
- 越後上布 金七十八錢
- ショゼット小紋 金一圓五十錢
- 音曲本染中形 金一圓五十錢
- 絹麻小紋 金三圓
- 夏セシル 金二圓八十錢
- 最新柄バラマント友仙 一支モスリ 金七十八錢
- 音曲本染中形 金一圓五十錢
- 東三京中形 金九十五錢
- 錦仙男女向 金二圓五十錢

盆踊用に文化手拭と粋な伴天新發賣

雑貨洋品大廉賣

京吳服赤札附特賣

高級な西陣製品を思ひ切つた赤札、是非御覽の上御用命下さい

三井吳服店

電話(三八)番 (二八)番

女房に見限られて

悪の生活に踏込む

勳七等の勇士が自暴自棄

前科持つ身の悲しさ

(昨報)四倉湯本の時計商を荒して贓品を賣却せんとし、平署に逮捕された自稱鳥取縣西伯郡車尾村生れ前科一犯原田利衛(三)は前記兩店の犯行を自白、先にも各地を荒して来た餘罪判明したが

犯人は滿洲事變に活躍勳七等を有する勇士であるが昨年八月迎いた妻四倉

黒人洗足の

日焼けした顔で

けふ生徒達等久し振りの登校

平町第一、第二、第三の小學校児童は既報の如く今十五日は召集日で一同欠し

振りに登校校長先生や受持先生から色々の注意があり学習帳等の監査を受けて校舎内外の大掃除をして歸へつたがいづれも日焼した顔で頗る元氣で先生達を安心させた

十三日會

講演會開く

平町十三日會は来る十八日に午後七時から丸友ホールに例會を開き岩波書店の山

町本町朝次郎長女鈴木ウタ(三)が同人の過去の窃盗前科を知り本年七月家出行方を晦ましたのを悲觀、自暴自棄となり勤務先の川崎市日本鋼鐵會社を辭めて悪の生活に入り茨城地方を荒して湯本町に入り込み四倉方面まで手を伸ばして逮捕されたものである

時代の情夫があり共謀と見て捜査中

北白土座談會 飯野

村北白土部落座談會は十五日夜七時から開き蔬菜二毛作等農業經營改善の計畫樹

眞面目な

職業婦人を

魔の淵に誘ふ

轉々賣り飛ばして毒爪を磨く誘拐犯

(既報)大掛りな婦女誘拐團の一味として平署から栃木署に移送された小名濱町上町料理店喜久屋こと河野光太郎(三)は栃木縣下で一味と聯絡同縣都賀郡岩舟村料理店川島いく新酌婦郡馬縣生れ大野みよ(三)が一昨年春東京市銀座一町目の新響樂團事務員として働いて居

番人の居ない

危い踏切で

自動車引摺らる

平町三町目平タクシー方運轉手遠藤太郎(三)は本十五

明日の天気 十六日 報豫氣 今晩南東の風晴 後雨模様 冷しくな

今晩の部

- 後六、〇〇 童謡と唱歌 山形縣東置賜郡沖郷漆山 校兒童
- 後六、二五 趣味講座 史蹟巡り「新田塚平泉寺」等 中谷文作
- 後七、三〇 盆踊大會：仙臺市西公園中繼 福島縣 双葉郡浪江町連中 長野 AKOK
- 後八、〇〇 盆踊實況 山立に關し協議した

明日の部

- 後九、三〇 時報 氣象通 明日の話題 番組預告
- 後七、四一 中等學校復習の時間「地理」宮川善造
- 前八、一〇 小學生おさらひの時間「國史」寺坂長夫
- 前八、四〇 孟蘭盆會法要 金戒光明寺中繼(京都)
- 前九、〇〇 全國中等野球甲子園球場中繼
- 前九、三〇 子供の時間「夏休み玉手箱」福井
- 前一〇、〇〇 講演「ドイツ學生生活の斷片」松本 徳明
- 前一、〇〇 講演「エスぺラントが我國へ如何なる徑路をへて入つて来たか」岡本好次(秋田)「今日の唱歌教育」小林禎吉
- 後〇、五〇 滿洲より「管絃樂」ハルビン交響樂團
- 後四、二〇 漕艇全日本選手權大會決勝 鹽釜灣「スー」重陽艇上無線中繼
- 後六、〇〇 少年音樂講座「ピアノ」吉原規
- 後七、三〇 盆踊 會津若松連中 宮城民謡團：仙臺市西公園中繼
- 後七、五〇 物真「似づくし」浮世亭雲心坊他
- 後八、五〇 歌謠風景「海水浴御用心」柳家雪江
- 後八、五〇 浪花節「村上喜劍」津田清美

蠅取り當選者 過般

行なはれた平町蠅取競技デ

の受賞者は一等の五圓券が第一小學校四年生の平町播植小路小賀坂重助さんが獲得、二等は平町南町清野キヨさん、同町仲間町松崎トシ子さんであると

罰金が納められず

苦役を志願

平刑務所に八名

平刑務所の在監者

目下平刑務所に於ける在監者は五千圓の小切手採取り犯人深田光太郎やお定式戦法を用ひて巡査部長を苦しめた例の穴戸一を始め窃盜傷害、業務上過失傷害、賭博犯人等計二十三名に達つしてゐるがこの内八名は略

式罰金に處されても到底罰金が納められず自から苦役を志願した者であると

裁判一束

△既報去る十三日窃盜罪として起訴された現金専門の

平職業紹介所報告

- △豆腐賣子 三十才 迄給料歩合
- △雑夫 廿才迄 給八圓
- △出前持 十八才迄 給五圓
- △職を求め方
- △店員 十八才 高卒
- △女中 十五才 高一修
- △職工 十八才 高卒

